

日付	/	/	/
得点	/5	/5	/5

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 番

「話」は必ずしも「メッセージ」にはなりません。話すことは声を出して言葉を言うことだと私たちは考えがちです。しかし、言葉を言えばそれで話が通じるわけではありません。話し手が伝えたいと思う言葉は、相手に届かなければ意味がないのです。また、相手に言葉が届いたからといって、それで目的が達せられたことにもなりません。相手がきちんと聞き取り、そして、内容を理解してこそ「話」が「メッセージ」に変わるのです。つまり、通じたかどうかは、聞き手によって決まるということです。

問 「話」が「メッセージ」に変わる とはどんなときか。

- 1 話し手が声に出した言葉が相手に届いたとき
- 2 話し手が伝えようとした話を聞き手が理解したとき
- 3 話し手が話したことを相手が聞き取ったとき
- 4 話し手の話の内容を聞き手が決めたとき

ぶんしょう よ
文章を読んで、() に言葉を書いてください。



- ① 「話」はいつも「()」になるとはかぎらない。
- ② 「話す」ことは「() 言葉を言う」ことだと考えるのは正しくない。
- ③ まず、() の言葉が () に届くこと、次に、届いた言葉を () がきちんと () が必要である。
- ④ そして、届いた言葉の意味を () が () が必要で、このときはじめて、「話」が「()」になる。

2番

本田さんが若いときに海外出張でE国へ行ったときのことである。到着後、まずは取引のための打ち合わせが必要なので、相手企業のスタッフに連絡し、2日後に会うことを決めた。2日後、決められた場所に行ったが、相手が来ない。電話をかけてみたところ、「気が変わった。打ち合わせは後日^{ごじつ}にしてほしい」とのことだった。本田さんは驚いた。そして腹も立った。せっかく遠路をやって来たというのに、「気が変わった」の一言で約束を取り消すとは失礼だ。しかも連絡なしに…。後日^{ごじつ}、本田さんは現地の日本人にこの話をした。すると、彼はこう言った。「この国ではそんなことがよくあるんです。パーティーに招待した相手から出席するという返事があった。しかし、当日来なかった。しかも何の連絡もない。…招待されたとき、出るつもりがなくても一応受けておくんです。その場ですぐ断るのは失礼に当たるからなんだそうですよ」これを聞いて、本田さんは、「失礼」もいろいろなのだと納得せざるをえなかった。

問 失礼もいろいろなのだの説明として最も適当なものはどれか。

- 1 外国ではいろいろ失礼なことをされて腹が立つことが多い。
- 2 一つの国にはいろいろな種類の失礼がある。
- 3 招待をその場で断るのは失礼に当たるということを納得した。
- 4 何が失礼に当たるかということは国によって変わる。

ぶんしょうよ
文章を読んで、()に言葉を書いてください。

解き方の
ヒント 

- ① 本田さんが驚いたこと：
 - ◇ E国の人^{ひと}が打ち合わせの日^ひに約束の場所^{ところ}に()こと。
 - ◇ 「日^ひを変えてほしい」という()もなかったこと。
 - ◇ 来^きなかった理由^{りゆう}は「()から」というだけだったこと。
- ② 日本では、特別^{とくべつ}の理由^{りゆう}がある場合は約束^{やくそく}を()のもしかたがないが、その場合は相手^{あいて}に()をするのが普通^{ふつう}だ。また、ただ「気が変わった」というだけでは、約束^{やくそく}を守^{まも}らない理由^{りゆう}にならないし、非常に()になる。
- ③ 一方^{ひと}、E国^{こく}の人^{ひと}にとって、誘^よわれたとき^{とき}に断^{ことわ}ることは()に当たるそう^うだ。
- ④ これは日本^{にっぽん}であったことではなく、()であったことだ。だから、本田^{ほんだ}さんは、「国^{くに}が変われば、何が()になるかということも変わる」ということを知^しった。

内容理解 短文

第1回

1番 正解2

ポイント

◇相手がきちんと聞き取り、そして、内容を理解してこそ「話」が「メッセージ」に変わるので。

🔊 P 98の答え

- ①「話」はいつも「(メッセージ)」になるとはかぎらない。
- ②「話す」ことは「(声を出して) 言葉を言う」ことだと考えるのは正しくない。
- ③まず、(話し手)の言葉が(聞き手)に届くこと、次に、届いた言葉を(聞き手)がきちんと(聞き取る)ことが必要である。
- ④そして、届いた言葉の意味を(聞き手)が(理解する)ことが必要で、このときはじめて、「話」が「(メッセージ)」になる。

2番 正解4

ポイント

◇この国ではそんなことがよくあるんです。

◇招待されたとき、出るつもりがなくても一応受けておくんです。

◇その場で断るのは失礼に当たるから

🔊 P 99の答え

①本田さんが驚いたこと：

◇E国の人が打ち合わせの日に約束の場所に(来なかった)こと。

◇「日を変えてほしい」という(連絡)もなかったこと。

◇来なかった理由は「(気が変わった)から」というだけだったこと。

②日本では、特別の理由がある場合は約束を(守らない/破る)のもしかたがないが、その場合は相手に(連絡)をするのが普通だ。また、ただ「気が変わった」というだけでは、約束を守らない理由にならないし、非常に(失礼)になる。

③一方、E国の人にとって、誘われたときに断ることは(失礼)に当たるようだ。

④これは日本であったことではなく、(外国)であったことだ。だから、本田さんは、「国が変われば、何が(失礼)になるかということも変わる」ということを知った。

3番 正解1

ポイント

◇最も表面積が小さい形は球形であり、円筒形はその次である。

◇球形は、並べておくにも運搬するにも扱いやすい形ではない。

🔊 P 100の答え

①同じ容積で形が違う容器を比べてみると、(表面積)が最も小さいのは(球)形の容器で、その次に小さいのは(円筒)形の容器である。

②容器の(表面積)が小さいほど、使われる材料は少なくて

すむ。

③だから、液体を入れる容器に最も適しているのは(球)形である。しかし、この形は、並べたり、運んだりするときに(扱いやすい)形ではないので、不便である。

④それで、2番目に(表面積)が小さくて、しかも扱いやすい(円筒)形の容器が使われるのかもしれない。

4番 正解4

ポイント

◇子どもたちは、たえず友人とメールでやり取りしている。

◇これはまさに、メールなしでは過ごせないという症状で

◇見過ごすことができないのは、こういった傾向が実は大人の中にも確実に増えているということだ。

◇これを単なる社会現象や流行として片付けてよいとは思えない。

🔊 P 101の答え

①携帯電話を持っている子どもたちは、メールがちよっと来なくなると(不安)な気持ちになるらしい。これは、メールがないと(過ごせない/いられない)という症状の病気のようなものだ。

②この傾向は、子どもだけでなく、(大人)にも同じように現れている。これは(見過ごす)ことのできない問題だ。

5番 正解2

ポイント

◇トンネルを抜けたとき、世界は急に明るくなり、見えなかったものが見えてくる。

🔊 P 102の答え

①科学の研究では、知りたい点を知ろうとするだけでなく、その点に(関係/関連)のあるいくつかの点もいっしょに調べて(理解)しなければならない。これが科学の研究の難しさである。

②知りたい点を調べると、それに(関係/関連)した問題点が見つかる。それについて調べていると、また次の新しい問題点を調べなければならなくなる。このような繰り返しが続くことは、(長いトンネル)の中を通ることに似ている。

③しかし、どんなに長い(トンネル)にも必ず(出口)があるのと同じように、調べ続けることにも終わりがある。調べ続けることが終わったとき、それは今までわからなかったことが(わかった)ときである。

第2回

6番 正解2

ポイント

◇お母さんがたくさん声をかけること、話しかけることが赤ちゃんの脳の発達に良い影響を与える。

◇多くの時間を赤ちゃんと過ごすほうがいいとわかっている、それがなかなかできないのが現状だ。

◇子どもが生きやすく、育てやすい環境を整えること、それが赤ちゃんの脳を発達させることにつながる

🔊 P 103の答え

①子どもの(脳の発達)に効果があることは何か。